

市民の安全・安心のために強化した検査体制

～市と医師会が連携した「川口市PCR検査センター」～



川口市医師会
長江 厚 理事

検体の採取は、これまで設備のある医療機関でしかできず、そこに人員を割くことで救急体制が手薄になるといった問題を抱えていました。そうしたなか、市が迅速にこのPCR検査センターを整備していただいた結果、体制を集約できたことは大変有難かったです。

また、ここでは、私たち医師と一緒に保健所のスタッフが頑張ってくれています。保健所の皆さんには感謝の気持ちしかありません。

市民の皆さんの努力のおかげで、今は成果がはっきりと表れていますが、この先第2波、第3波が起きたときの不安もありますので、より簡単な検査体制が確立されればよいと思っています。



市では、4月30日に「川口市PCR検査センター」を開設し、新型コロナウイルス感染症の検査体制を強化しました。これにより、PCR検査数の増加による陽性者の早期発見、自宅待機中の陽性患者数の減少、帰国者・接触者外来を担当している医療機関の負担軽減などの効果をあげています。

川口市医師会へセンターの運営を委託し、火曜日から金曜日に医師会所属の医師が日替わりで担当してPCR検査の検体採取を行っています。検体の採取に際しては徹底した感染防止対策がとられ、採取を行うのは

1人の医師のみ。防護服に身を包み、新型コロナウイルスに感染した疑いのあるかたから、慎重に検体採取します。1日に最大22件もの検体の採取が行われ、採取した検体は、医師以外は手触れることのないよう、十分な注意が払われ、検査機関に送られます。



Stop
covid-19

川口市は新型コロナウイルスと闘う医療機関を支援します

今、新型コロナウイルス感染症により医療現場は、非常に大変な状況にあります。感染の危険や恐怖と闘いながら、人びとの命を守るために全力を尽くされている医療関係者のために、本市では独自の支援策を策定し、市民が安心できる医療行為を提供できるよう支援します。

入院体制の整備

- 感染予防設備の支援
- 入院受け入れに対する支援



外来体制の整備

- 感染予防設備の支援
- 帰国者・接触者外来の支援
- PCRセンターの開設



感染に伴う休業への影響緩和

- 協力医療機関で医師や医療スタッフが新型コロナウイルスに感染し、休業した場合の経営への影響を緩和します

